

学び舎

～空き家でつながる学びの輪～



明治大学 経営学部 歌代ゼミナール
あったかゆたか

萩原一樹 金子遥香 島貫衣利加 山口明日香

目次

- ① 課題
- ② 現地調査によって見えた課題・ニーズ
- ③ 学び舎
- ④ 情報発信方法
- ⑤ モデルケース
- ⑥ 効果と新規性
- ⑦ おわりに



福島についてあまり知らなかった私たちは
まちづくりコンテストへの参加を通して、
前よりもずっと、福島に愛着を持ちました

それは、福島で前向きに取り組んでいる方たちとの交流があったからです

最後は“人”



福島相双復興推進機構
赤堀さん

**福島の“人”と関わることが、
福島に愛着を持って活動をする“原動力”になる**

福島についてあまり知らなかった私たちも
まちづくりコンテストへの参加を通して、
前よりもずっと、福島に愛着を持ちました

それは、福島で前向きに取り組んでいる方たちとの交流があったからです



課題

12市町村の課題



風評被害

外（県外）からの風評被害は、
福島のことをあまり知らない
ことによるものではないか



移住者が少ない

若い人口増加のネックとなっ
ているのは、その土地に関わる機
会不足なのではないか

12市町村の課題



**課題を解決するためには
12市町村の関係人口を増やす必要がある**

福島のことをあまり知らない
ことによるものではないか

いるのは、その土地に関わる機
会不足なのではないか



現地調査によって
見えた課題・ニーズ

現地の方々の想を探りながら

構想を練るべく

私たちは2度の現地調査に行きました。



現地調査



かながわ避難者と共にあゆむ会
矢内さん・小栗さん



MARBLiNG 松本さん
飯舘村地域おこし協力隊 松尾さん



AFW 吉川さん



とみおかプラス
本間さん・根本さん



ロボットテストフィールド
田中さん・伊東さん



フルハウス



芥川賞作家
フルハウス 柳美里さん



まちづくりなみえ 菅野さん



浪江町古民家



図図倉庫



MARBLiNG 松本さん¹⁰



12市町村には大学がないので、大学生を知らずに育ちます。**大学生と関わることは子どもにとって新鮮な体験**になります。息子が小学生の時にも大学生と関わる機会があったら良かったです。



大学生と関わりたいというニーズがある！

かながわ避難者と共にあゆむ会 矢内さん・小栗さん



福島は今、原発、高齢化、人口減少など社会課題が日本一多くある場所。

福島に来て社会課題を認知し、考え、行動することを通じて、自分自身の成長につなげてほしい！

主体的に取り組みたいと考えている学生に来てほしい！

菅野さんが行った震災学習プログラムには、全国から多くの学生が集まった



福島に関わりたいと思ってる学生が
全国にいる！

まちづくりなみえ 菅野孝明さん

とみおかプラス
TOMIOKA PLUS



子どもが学校外で学べる環境はほとんどなく、
新しいことに挑戦できる機会が
ほとんどない！



子どもが学校以外に学べる場所が
求められている！

とみおかプラス 本間さん・根本さん

キーパーソンの紹介



松本 奈々さん

合同会社MARBLING
(飯舘村の地域おこし会社)
共同代表



松尾 洋輝さん

飯舘村 地域おこし協力隊
プロゴルファー
動画プロデューサー
コーヒー豆販売

様々な分野の人やテナントが集まり
アイデアを集積し
共に作りあげていく空間



アーティスト
とのコラボ



キッチンカー
ショップ



電気屋さんによる
根ワサビの水耕栽培



シェアオフィス

松本さん・松尾さんの活動 図図倉庫（ズットソーコ）



空きハウス問題を解消するため、
環境課題に積極的に取り組む企業と協力して
環境にやさしいコーヒー豆を栽培します。
更に企業から資金の援助を受け、教育支援として、子どもたちに無料で収穫や焙煎の体験プログラムを用意しています。



社会課題への取り組みはSDGsとして**企業から注目**されており、**企業も積極的に行動している！**

松尾さんが行うコーヒー豆の栽培

現地調査ではキーパーソンや現地の方の思いにふれ
構想を何度も練り直しました



キーパーソンのお二人にはたくさんのアドバイスをいただきました…！！！！

【現地調査でわかったこと】

【12市町村】



大学生に関わりたいというニーズがある！



子どもが学校以外に学べる場所が求められている！

【大学生・企業】



福島に関わりたいと思ってる学生が全国にいる！



社会課題への取り組みはSDGsとして企業から注目されており、企業も積極的に行動している！

【現地調査でわかったこと】

【12市町村】



大学生に関わりたいというニーズがある！



子どもが学校以外に学べる場所が求められている！



【大学生・企業】



福島に関わりたいと思ってる学生が全国にいる！



社会課題への取り組みはSDGsとして企業から注目されており、企業も積極的に行動している！

【現地調査でわかったこと】



大学生に関わりたいというニーズがある！

これらのニーズをマッチさせる

“学び舎”



福島に育ち、進学先を全国に求める学生が全国にいる！

を提案します



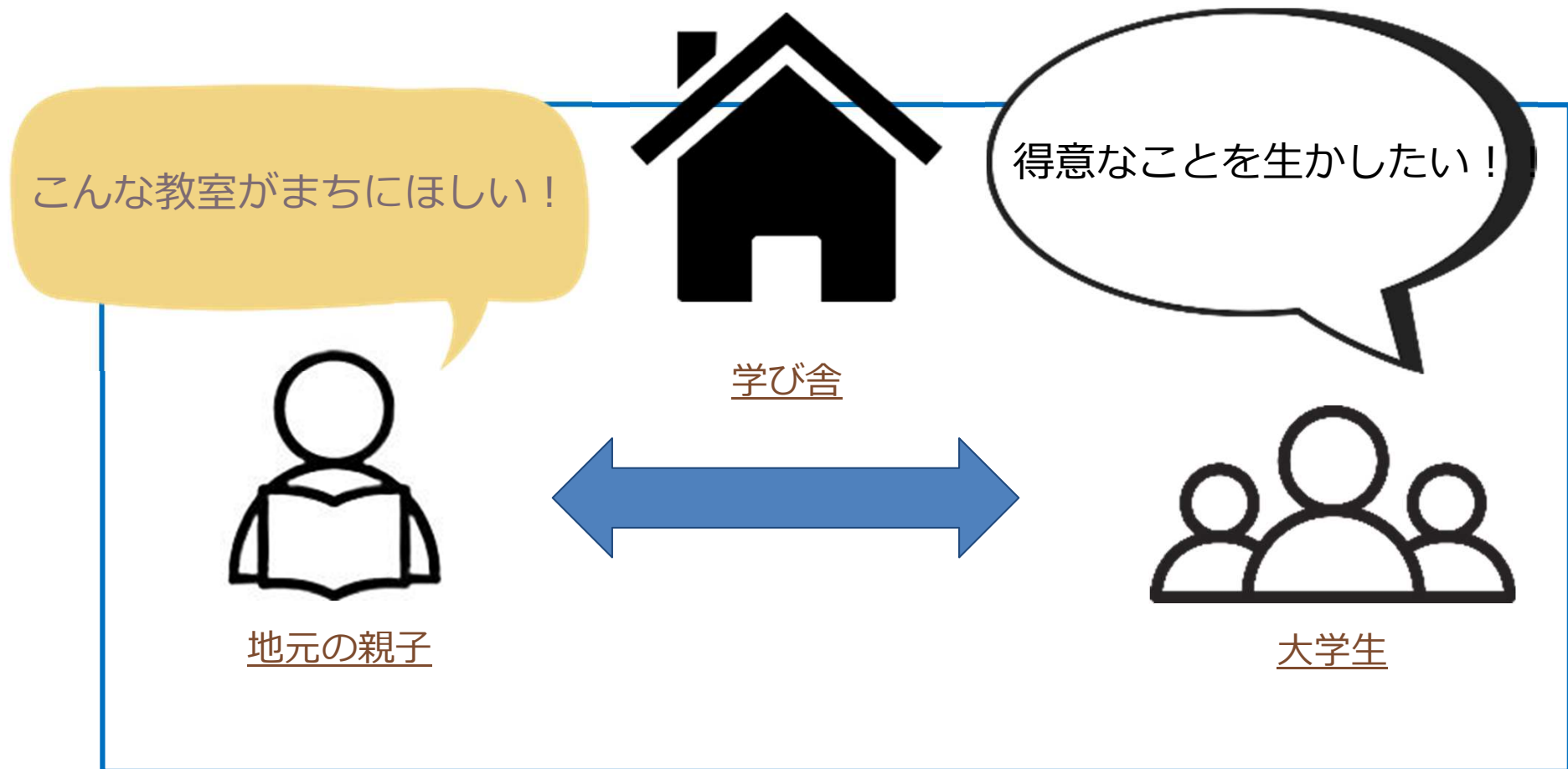
社会課題への取り組みはSDGsとして企業から注目されており、企業も積極的に行動している！

3

学び舎



学び舎の全体像



地元のニーズをサイトで集約、可視化できる状態に。
そのサイトを見た大学生が地域のニーズに適した学び舎を運営
できるようにする。

開催日程

長期休暇

各テーマごとに3日程度の連続した日程

目的

子どもたちが
「興味を持ったこと」に
触れられる環境を作る

参加者

<教える側>

主体的な活動に取り組みたい、得意を活かしたい他地域の大学生

<教わる側>

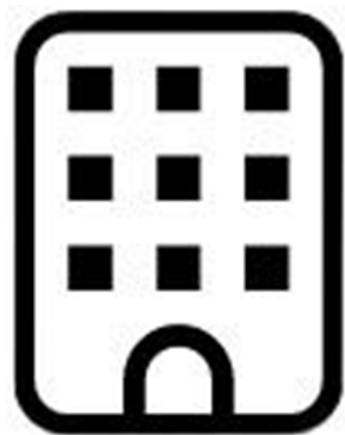
学校以外で学びをしたい
地元の子どもたち

場所

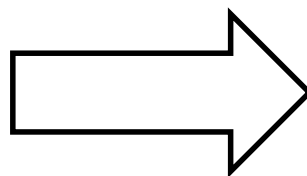
地域に存在している資源である
“空き家”を活用

運営主体

学び舎の運営主体として
「NPOまなびや」を設立



NPOまなびや

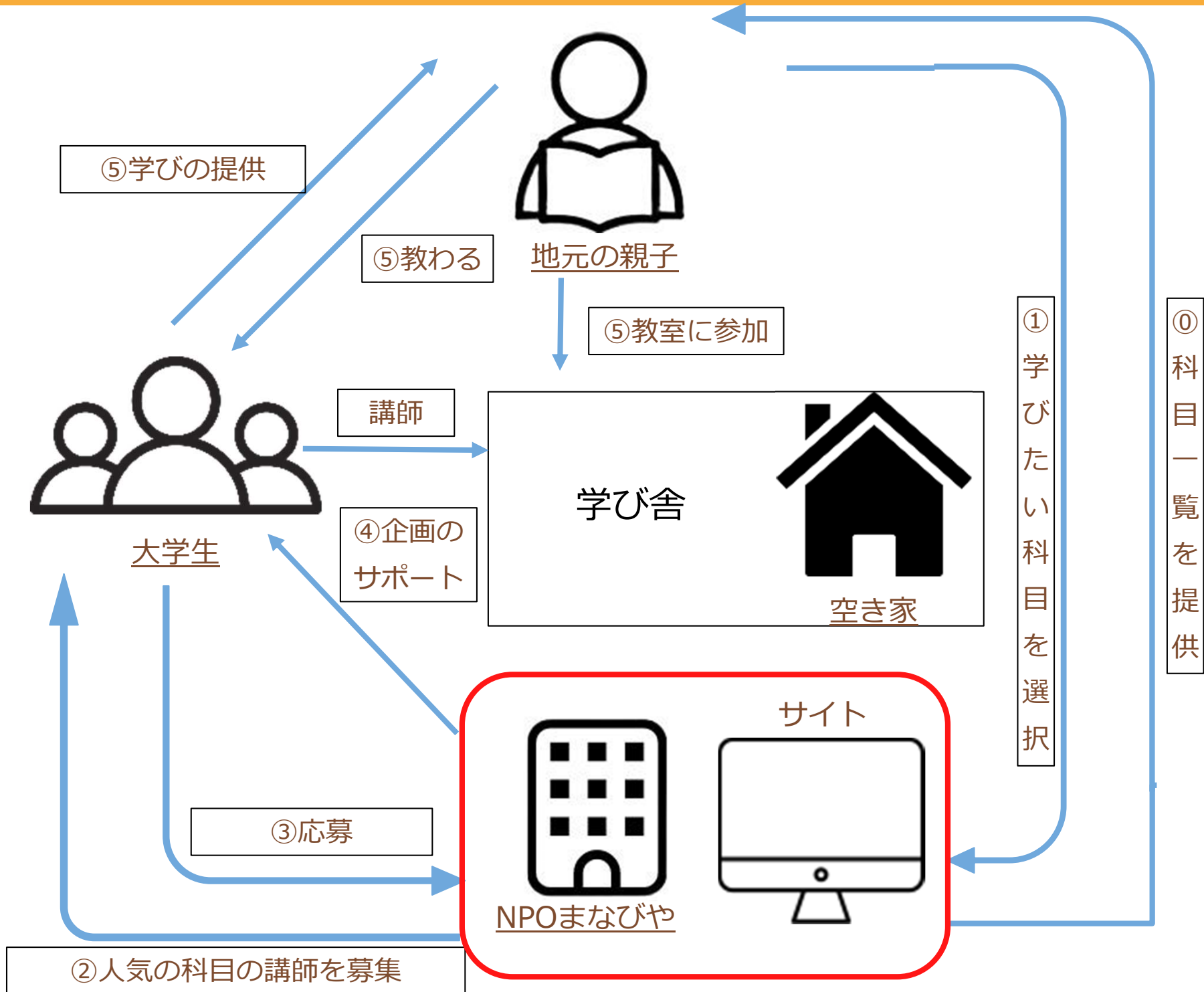


運営



学び舎

地元の親子と大学生



設定した市町村

浪江町・富岡町

浪江町

地域の資源である“空き家”を学び舎の実施場所として活用

→ 地域に存在している教育の面・空き家問題といった
地域課題を同時に解決



学び舎の実施場所として
この空き家を使って
いいですよ！



富岡町

**NPOまなびやとの提携を依頼！
学び舎に参加する大学生のサポートを手伝ってくれることに！**

学び舎プランを
実現してほしい！

ぜひ
頑張らせてください！！！！

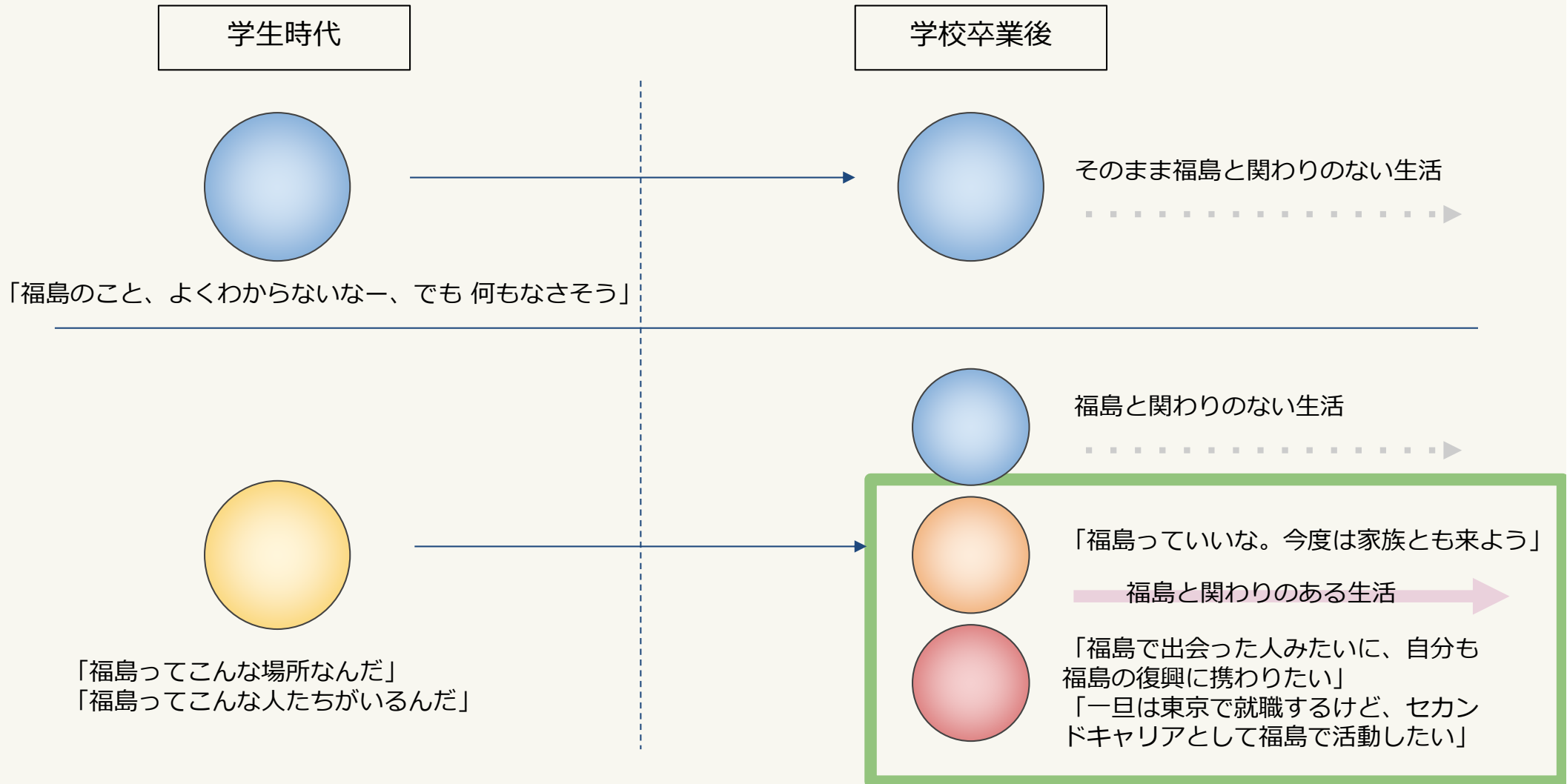


学び舎のねらい

ねらい

**大学生が12市町村を訪れるきっかけを提供し、
関係人口を増やすはじめての一歩とする**

関係人口とは

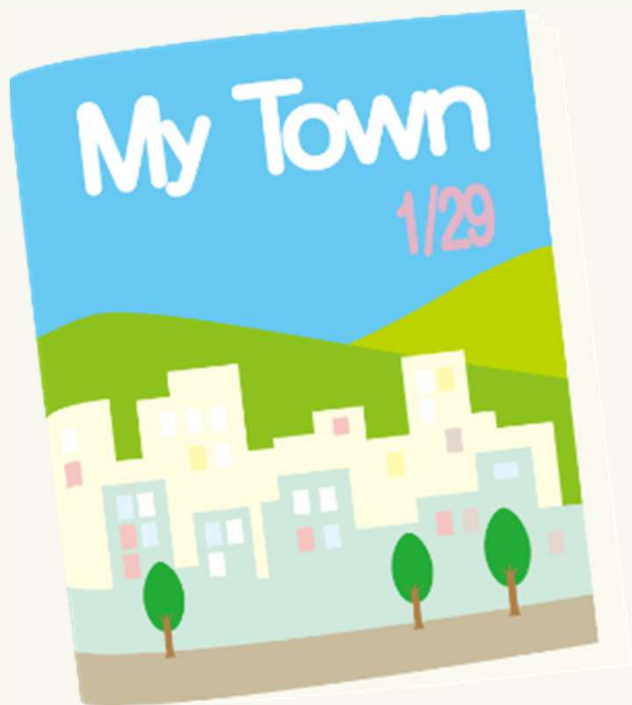


**学生時代に福島とかかわることが
将来的な福島の人口増加につながる**

④ 情報発信方法

親子への周知方法

例1：まちづくり団体が地域の情報誌を発行し、
サイトの存在を知ってもらう



例2：子どもの通う学校で
学び舎に関する資料を配布



大学生への周知方法

例1：ボランティアサイトに学び舎の活動を掲載



例2：ポスター等を大学内に掲示



大学生への周知方法

例3：学び舎を体験後、SNSに活動内容を投稿



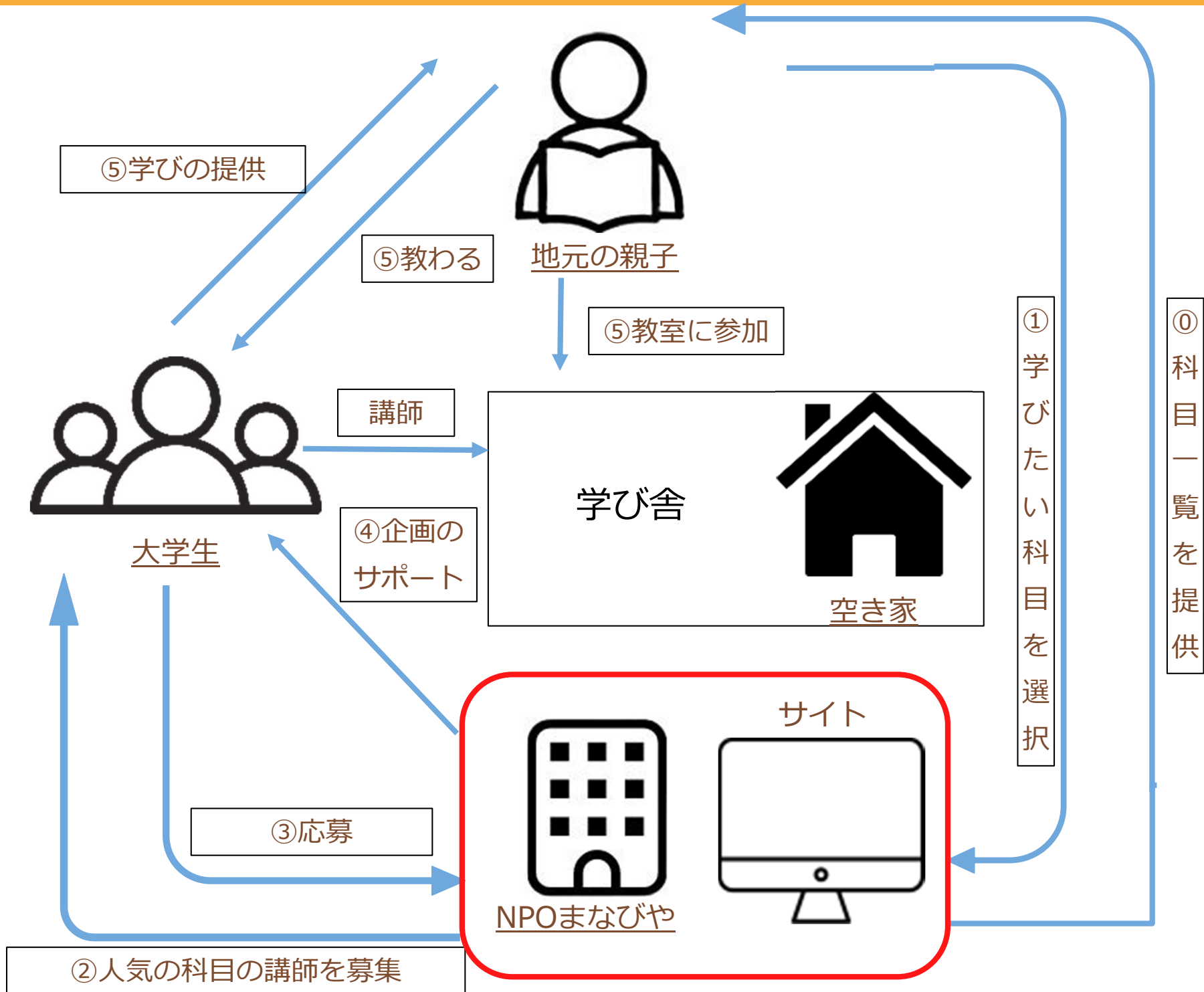
大学生から大学生へ活動の輪が広がっていく





モデルケース

地元の親子と大学生



ペルソナ

鈴木たける君

- 12歳
- 男の子
- 富岡町在住
- 体を動かすことが好き



山本ゆうだいさん

- 21歳
- 男性
- 大学生
- 都内在住
- 大学のサッカーサークルに所属
- 子供が好き



富田ひろしさん

- 43歳
- 男性
- NPOまなびやに勤める
- 学び舎を運営する学生をサポート



お子さまのお名前

鈴木たける

お子さまの年齢

10

お住まいの地域

福島県富岡町〇〇

開催希望日

7月下旬

8月上旬

8月中旬

習ってみたいこと

サッカー

バスケット

ダンス

ピアノ

プログラミング



たけるママ

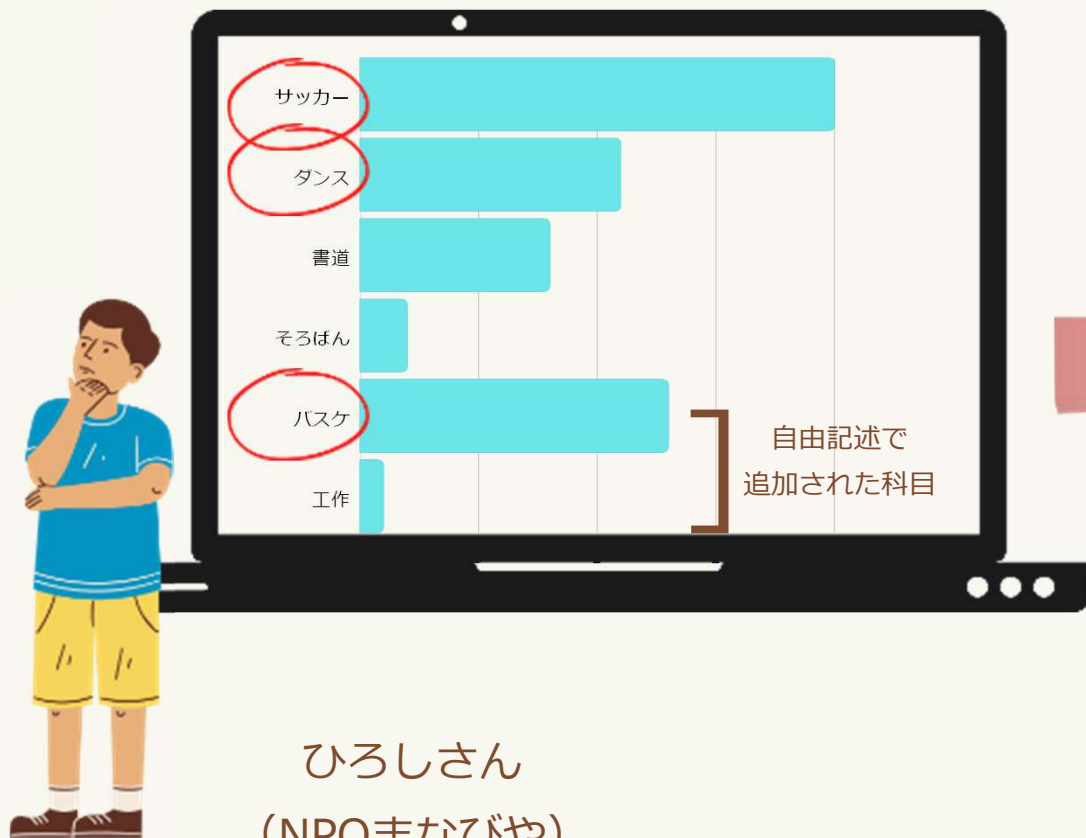
何をしてみたい
？



たけるくん

①地元の親子が学びたい科目を選択（複数可、自由記述あり）

だれが・いつ・どこで・
どんな教室を
開催してほしいかをデータ化し、
サイトに掲載

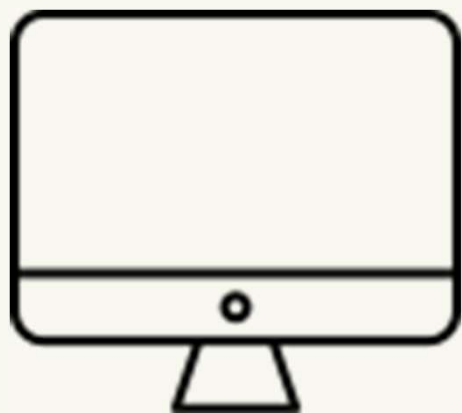


おもしろそう！
やってみたい！！！！

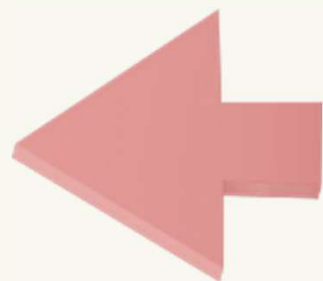


ゆうだいさん
(大学生)

②サイトで人気の科目の講師を募集 (大学生)



NPOまなびやの
サイト



応募



今度のサークル合宿でこれやらない？



ゆうだいさん
(大学生)

③参加したい大学生が応募

応募者は低学年の子が多いから、
サッカーの基本から教える方が
いいんじゃないかな？
場所・授業費用・開催日程・
プロモーション方法もかんがえないとね！

サッカー教室を開催してほしい人が
15人いるのか！じゃあその人たちのために
サッカー教室を開催してみよう！
どんな授業内容にしようかな？
開催はサークル合宿のある
夏休みにしよう！



ひろしさん
(NPOまなびや)



開催するために考えるべきことや
必要な準備をサポート



ゆうだいさん (大学生)

④企画のサポート



⑤夏休みに学び舎に参加

子どもに教える経験
ははじめてだったけど、楽しかったな！

サークルの仲間と
頑張れた経験が
作れた！

子どもたちが楽しそうにサッカーを学んでくれてよかった！

**福島ってこんな人
たちがいる場所
なんだ。
福島のこと、
もっと知りたいな**



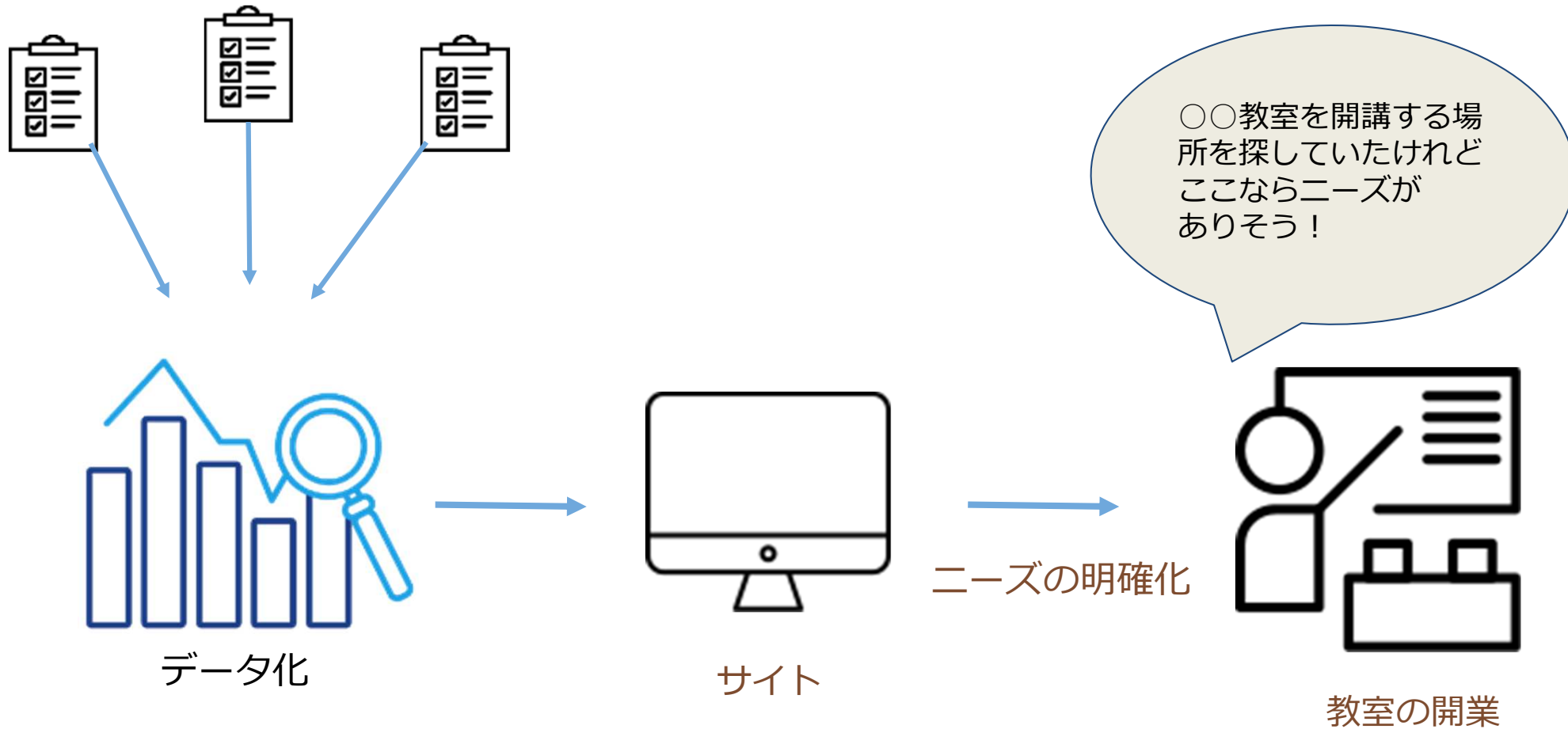
ゆうだいさん（大学生）

「人」との関わりが福島とのさらなるつながりに

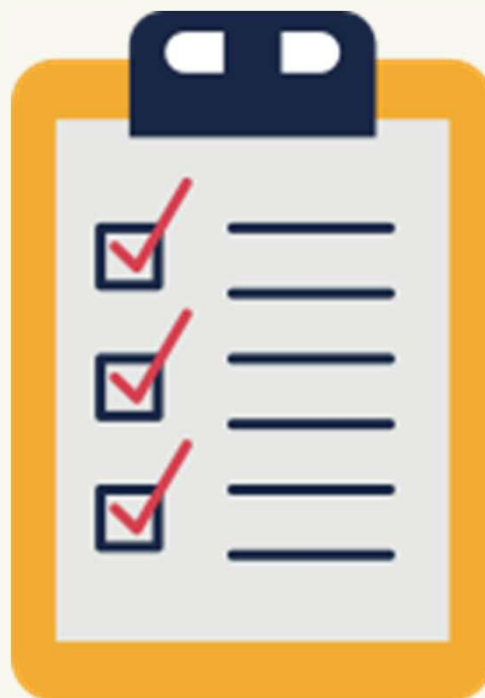
交流をする中で、お互いが学びあう
“学び舎”に

その後の展望

開催した教室のアンケート



サッカー教室
楽しかった！
またやりたい！



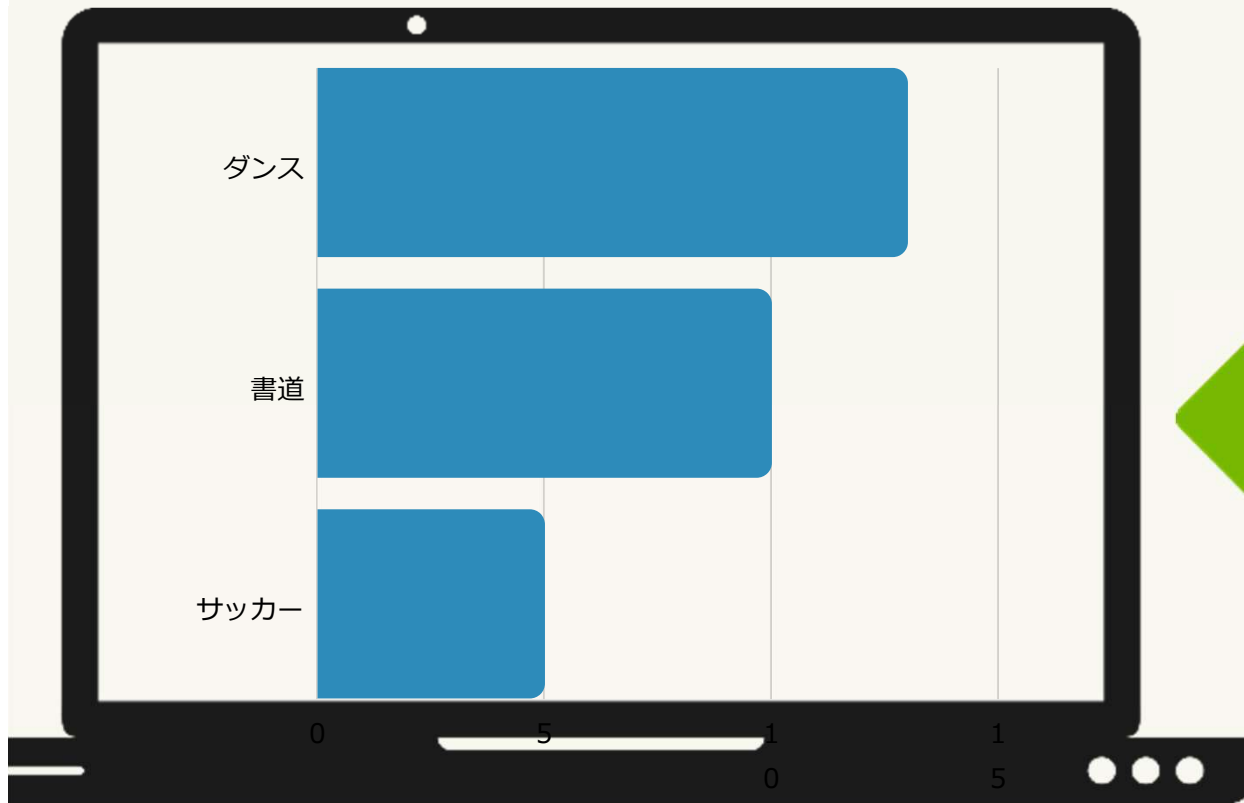
バスケ教室とても
満足しました！
次はもっと難易度
をあげた授業をし
てほしいです！

ダンス教室、次は
友達も誘って
参加したい！！

ピアノ教室は
もういいかな...

開催した教室のアンケートを実施し、データとして活用

ダンス教室のニーズがあるんだ！！



特に人気だった科目をサイトで紹介（ニーズの明確化）

「教室を開きたい」 × 【ニーズが明確】 = 事業の成功可能性が高い



実際の教室開校につながる

⑥ 効果と新規性

効果

大学生

- ・ 自分で企画・実行する実践的な経験ができる
- ・ 福島に関わりを持つことで、愛着を持つ
- ・ 福島の子どもたちと仲良くなって継続的に訪問してくれる
→ **リピーターにつながる**



- ・ 自分の好きなこと、趣味、特技、熱中できることをみつけられる
- ・ 他地域のお兄さんお姉さんと交流でき、大学生という存在を知ることができる
- ・ 子どものやりたいことを叶えてあげられる

地元の親子

- ・ 空き家を有効活用できる
- ・ 人口、特に若い世代の少なかった土地に、大学生が訪れてくれるようになる
- ・ 地域を知ってもらうことができる

浪江町 富岡町



新規性

ニーズのマッチング×課題解決

12市町村の親子、他地域の大学生のニーズをマッチングさせ、12市町村の抱える課題（教育の面、空き家問題）を解決しながら、関係人口を増やすはじめての一步を提供している点

12市町村の親子のニーズを第一に汲み取った運営

地元の親子のニーズを第一に、他地域の大学生が学びの機会を提供している点

実践的かつ本格的な運営

ボランティアやアルバイトに比べて、より実践的かつ本格的に企画へ関与できる点

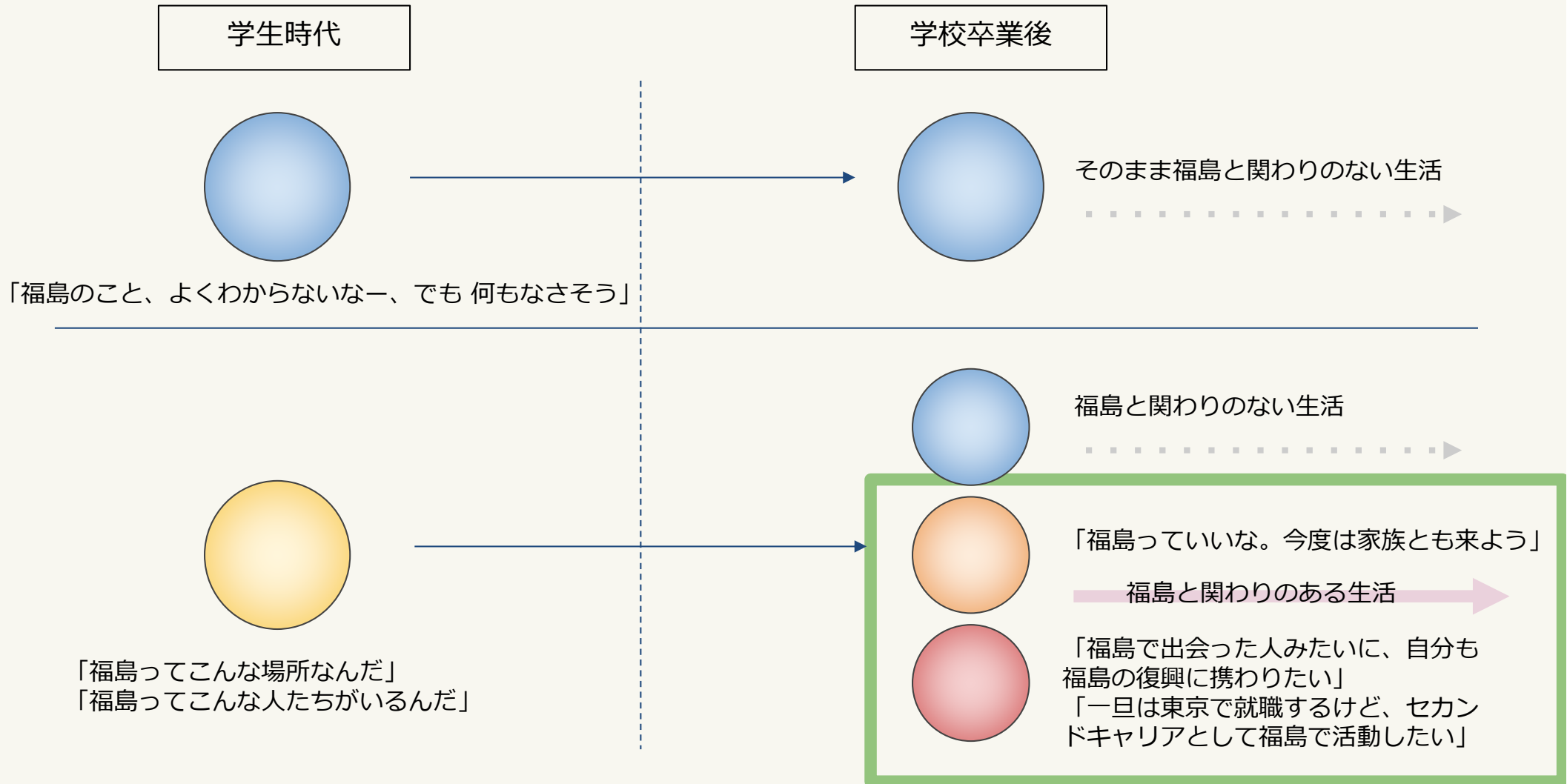


おわりに

**福島を“どう認識する”かが
今後“どう関わろう”と思うかにつながる**

福島の人とかかわることで
愛着を感じ、福島のために活動したいと思う
“深い関係人口”を増やす

“深い関係人口”の増加



“深い関係人口”が増加し、
まちのために活動する人・ビジネスが増え
新しい人・ビジネスが混じりあい
活気あるまちをみんなで作っていく

「福島ってよくわからない」

から

「福島にはこんな課題があるんだ」

「こんな人たちがいるんだ」

へ